

◎ 上西小の  
アスレチック  
施設

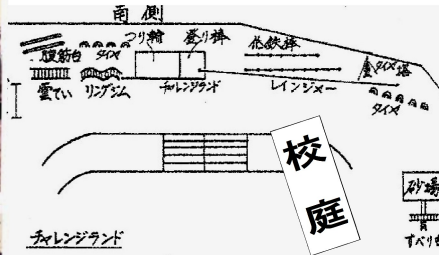
# 上西だより

～上西校区集落支援員だより～

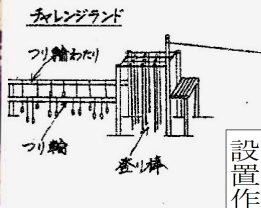
西之表市地域支援課  
上西集落支援員  
馬場 信一 編集  
連絡先090-9579-3953  
上西校区長責任発行

校庭施設修理をいつも快く引き受けてくださる大崎の平原月人さん大成さん親子は今年も依頼を受けました。今回はセンダンの木の「くもの巣ネット(左下)」です。子どもたちが使うには危い部分があるので修理を頼まれたとのこと。月人さんは修理の前に校長先生へ…。「こんたーおいが父ちゃんなど大崎ん衆(し)が編んだとやろー こあんたー (こんな編み方は) だりゃーしゃー (誰でも) でけんてやろー 修理すい前一、馬場先生に調べてもろーからー。」ということで、かつてあった上西小学校のアスレチック施設について調べてみました。

## アスレチック施設～昭和62年完成



神社周辺を整地し、  
←設置作業



設置作業→



学有林(現:西京ダム)の杉を伐採して搬出↑



体育館前にある  
くもの巣ネット



杉の皮をはぐ作業



等間隔に結び、ゆるみのないように編み上げていく技術は、漁師の手による熟練の技といえよう。

こんな大仕事の写真を見ても多くの方が「覚えとらんなあ」「34年前かあ」と首をかしげます。「あの頃は若かったから、難儀とも思わんにやった」とも。だから、みなさんの記憶には残らなかったのかもしれないね。

昭和60年ごろは、それまで主流だった外での遊びが室内の家庭ゲームにとって代りました。この時期は校内暴力や家庭内暴力が多発し、『青少年の非行防止・健全育成キャンペーン』が始まりました。このような情勢のなかで鹿児島県では「山坂達者」が提唱され、各学校にアスレチック施設が造られました。(参考資料『かごしま子ども白書 そだつ・まなぶ・つながる』)

## 当時 アスレチック施設を活用した子ども(だった人)の声

- 登校したら伊勢神社の坂を登り、施設をまわってスタンプだったかポイントだったか、もらった覚えがある。これでケガをしたという子はいなかったな。(S・S)
- 夏も冬も一年中走った。今のように校庭の草むしりがなかったから。みんな一斉に教室を出て椎の実を拾ったり遊んだりしながら、ほぼほぼ強制的に走らされていた。(M・N)

今回の取材には上西小学校初め校区民約30人ものご協力をいただきました。この場でお礼をお申し上げます。